

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ

会報



会長 石田 喜克
 副会長 武末 喜久治
 幹事 岩切 洋
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 例会場 ホテル泉屋 2F
 事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4
 ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第 1814 回 平成 25 年 12 月 5 日プログラム

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 点 鐘・黙 禱 | 7. 月初めのセレモニー |
| 2. ロータリーソング | 8. BOX披露 |
| 国歌斉唱・奉仕の理想 | 9. 各委員会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 会員職業卓話 |
| 4. 会長の時間 | 11. 次週例会案内 |
| 5. 幹事報告 | 12. 点 鐘 |
| 6. 出席報告 | |

2730 地区ガバナー 大迫 三郎

中部分区ガバナー補佐 尾崎 敏弘

第 2730 地区テーマ

『職業奉仕の実践』『感動』

高鍋ロータリークラブテーマ

『みんなで力を合わせて行動を』

12 月の月間テーマ

ロータリー家族月間

本日の例会案内

* 米山ランチ

* 月初めのセレモニー (誕生祝 6 名、結婚記念祝 3 名)

* ロータリー情報便り * R 友誌の紹介

次週例会案内 ; 12 月 12 日 (1815 回)

* 年次総会

* クラブ協議会 (半期報告)

* 血圧測定

* プログラム委員会

第 1813 回 例会内容

■会長の時間

会長 石田喜克君

11 月 24 日に、会員の杉尾義秀君がご逝去されました。謹んでお悔やみを申し上げます。会員の皆様におかれましては、通夜式・告別式にご参列を賜り御礼を申し上げます。

先程も、黙禱を捧げて頂きまして心から感謝申し上げます。

さて、本日は、(株)Nフィールドの金崎優喜子様、堀田由美所長をお迎えしての外部卓話になっております。精神科に特化した訪問看護等に関する詳しいお話が聞けると聞いております。金崎様は、会員の木村貞夫君の姪子さんになられる方で、木村君より以前から相談があり本日の登場となりました。私たちの知らない分野のためになるお話が聞けるのではないかと考えております。

先週は、黒木敏之君の内部卓話の中で石垣を創られたお話がありました。石垣の手法にもいろいろなパターンがあることに気づかされました。目的もさまざまであり、たとえば『土地の境界線』『国境』『防御施設』『土地の補強』などが多いかと考えられます。今回は、街並み・景観を重視されての行動をとられており、流石だなあ～



と共感させられました。このような行動を、個々のロータリアンとして積み重ねていくことで、私たちの使命を果たすことが出来るのではないのでしょうか？今後このような行動が、ロータリー財団への多大なる支援に繋がっていけば素晴らしい事だと思います。

今月は、ロータリー財団月間です。財団へのご理解・ご支援を宜しく願い申し上げます。

本日も、ロータリーを楽しみましょう！

■幹事報告 <文書案内>

幹事 岩切 洋君

* 12 月のロータリーレート

1 ドル=100 円

* 会長エレクト報告、クラブ状況報告のお願い

* 薬物乱用防止指導員の推薦について (依頼)

* 2012-13 年度「一般社団法人ロータリーの友事務所」事業報告の件



■出席報告

出席委員長 野田俊一君

出席状況

会 員 数	47 名
出席 会 員 数	32 名
ホー ム 出 席 率	72. 73%
前々回修正出席率	89. 13%



■BOX披露

親睦活動委員長 木浦亨英君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

石田喜克君 (株) Nフィールド
堀田所長様と本日の卓話を頂
く金崎様をお迎えして。よろ
しくお願ひ致します。



木村貞夫君 Nフィールド所長
の堀田様と講師の金崎様をお
迎えして。本日は有難うござい
ます。よろしくお願ひ
します。

戸主 黒木武雄 当年四十七才
妻 ケサ 当年四十一才
長男 武信 当年二十三才

上日置から高鍋小丸へ移転した理由

黒木武信は大阪で醸造学を学ぶ(現在の大阪大学工学部)武信「卒業したら大蔵省の官僚になる。山の中の田舎には帰らない」両親は一人息子が帰らないことになっては一大事と、高鍋小丸に移転を決意。弐千円を用意しての移転、お金になるものはお金に変えた。大きな楠の木も白にして。上日置の工場、家屋敷は取り崩し、移築後の工場を建物の材料とした。

☆外部卓話

N. フィールド 金崎優喜子様

訪問看護ステーション

心に悩みをかかえながら地域で生活している方を
スタッフが定期的に訪問し、相談や支援を行なう。
かかりつけの医師が必要と認めた方が対象。



金崎優喜子様

堀田由美様

創業者・黒木武雄・その妻・ケサ

黒木武雄は神主、富田村村長(明治33年5代村長)焼酎醸造業、妻ケサは同じ上日置の中野家(酒造りを営んでいた)高鍋高校OB会東京支部の長中野さんは、この中野家、焼酎造りの元家の本家。「お会いする度、ウチが元家だ」と言われる。

黒木武雄は水沼神社の宮司を務めた。黒木武雄は黒木大歌戸の長男である。その先代の黒木大歌戸は水沼神社、富田八幡神社の宮司を務めている。水沼神社は宇都宮家である。その祖先・宇都宮弥三郎朝繁は天正15年秋月公日向高鍋に封せられるに従い、日置村神主兼宮司、比木神社も兼ねるとあります。幼名は大吉、宇都宮正重の3男(弘化3年8月日置村生まれ)大歌戸は宇都宮家から高鍋天神の宮司・黒木岩男の養子になり黒木姓になり、知行37石ヲ食ム藩校の入り皇学ヲ修め廢藩後

☆会員職業卓話(11/21)

黒木敏之君

前の空き地(まるき屋さん跡)の開発の話から

まるき屋さん御夫婦が
3年前の12月突然お見え
になった。「さら地にし
てお譲りしたい。」「エ
ッ、パチンコ屋さんの話
がある?!」約2000坪の
土地、どうするか?



まちなかに森を創ると
いう発想、まちなかの焼酎蔵、鎮守の森構想があった。

町の真ん中、商業地域の中に醸造業がある。

不適格業種、街中を出て行きたいという思いがあった。

1998年、尾鈴山蒸留所を立ち上げた経緯。まちなかの醸造蔵をどうすべきか?逆にまちなかにあることの決意。

そもそも、創業の地は上日置であった。創業明治18年、黒木武雄と中野家から嫁いできた妻・ケサによって始まった。大正3年に醸造業発祥の地・上日置から移転してきている。

我家の氏神様に刻んである言葉、

大正三年十一月富田村字上日置ヨリ代金弐千円ヲ以テ内藤勲ヨリ家屋舗ヲ買受ケ左ノ三人茲ニ移住シ引続キ焼酎醸造業ヲ営ム

大歌戸は八幡神社の神主をしながら日置小学校、八幡小学校の教職を兼ねた。

教職を辞して明治23年水沼神社の社堂となる。大正2年10月4日、69歳で亡くなっている。

武雄が高鍋小丸へ移転したのは大正3年11月、大歌戸が高鍋小丸への移転を知っていたかどうかは分からない。

移転は一大決心、亡くなる前には相談していたであろうと想像するところです。新たな決意、焼酎醸造業に込めた想い、様々な想いがあっての高鍋移転。

想いを込めた会社前の空き地開発

歴史とは何か(エリオット・ハレット・カー)時代との対話である。歴史家の数ほど歴史はある。

今の時代から歴史を振り返り、新しい視点で未来へとつなぐ。デザイナー水野学との出会い。

.....

<クラブ会報委員会より>

黒木敏之君の話を押聴していると、何か懐かしい映画やドラマの解説を聴いているような錯覚にとらわれました。いつか、黒木本店をモデルにした朝の連続テレビ小説でもできれば良いのにと思いました。(11/21)